

日本イーライリリーは 2022 年よりヤングケアラーを取り巻く環境改善に向けた取り組みを開始しました。その 1 つとして、「“本”と“本のある場所”で、子どもらしい時間を過ごすことで将来について考えるきっかけになってほしい」という思いから、全国の社員による子ども食堂や児童館への図書寄贈を行っています。“本とひとでつなげる・ひろがるヤングケアラーの未来 LL ライブラリー”と名づけ、その活動を社内だけでなく、社会に広げていくことを目指しています。

日本イーライリリーは、2023 年、社員の居住地や勤務地にある地域の子ども食堂や児童館など全国 27 施設に対し、ヤングケアラーの気づきを促す本を中心に図書寄贈を行いました。その後、図書寄贈の取り組みを新聞でご存じになった社会福祉法人上郡町社会福祉協議会が、同様に図書寄贈を実施されたので、その背景や思いを伺いました。

一上郡町社会福祉協議会では、ヤングケアラーの認知啓発に向けて図書寄贈を実施されたとのことですが、その経緯を教えてください。

私たち上郡町社会福祉協議会は、福祉を町民の皆さんに広く知っていただく取り組みを日々進めています。その 1 つとして、数年前から上郡町立図書館と協働して福祉やボランティアに関する図書を集めた企画展示を行っています。

ある日、新聞で日本イーライリリーさんのヤングケアラーに関する図書寄贈の記事を読み、「私たちが図書を購入して、寄贈するのもいいかもしれない。これだ！」と思いました。ただ、どんな本が良いのか分からなかったので、日本イーライリリーさんに電話して寄贈図書リスト（次ページ）を教えてくださいました。その後、実際に何冊か読んでみて「いいな」と思った 7 冊を、上郡町立図書館に寄贈しました。



一本の寄贈や図書館での展示にあたって、工夫した点がありましたか。

企画展示として目立つように並べたり、写真やイラストをつけたりして、子どもたちが見やすいように工夫しました。

一日本イーライリリーでも、社員が読んだ本の感想をポップにして貼るなど工夫しました。反響はいかがでしたか。

多くの方に本を手にとっていただいたと聞いています。貸し出しも約半年でのべ 40 回を超えました。大人からは「ヤングケアラーという言葉自体を知らなかった。」という声もあり、町民への認知啓発につながったと考えています。

一方で、半年で 1 回しか借りられていない本もあります。ただ、それはヤングケアラーの体験談をまとめた本です。本当に必要な子どもにその 1 冊が届いて、その子が読むことで何かのヒントになったかもしれません。実際は分かりませんが、そう考えると、企画展示ができて本当によかったなと思います。

一改めて、図書寄贈を実施された感想を教えてください。

図書寄贈を通して、町民の皆さんにヤングケアラーを知っていただく良い機会になりました。そして、私たち自身もヤングケアラーや図書寄贈の意義について学ぶことができました。というのも、寄贈によって、モノである「本」を手渡していくことで、人と人がつながり、輪の広がりを感じられたからです。私たちは「子どもは時代の影を映す弱い立場であり、人は人でしか助けられない」と考えています。今回の図書寄贈、引き続き本を通じて人がつながっていくことで、ケアラーの環境をよくすることができるかと期待しています。

一最後に、今後、図書寄贈に取り組む企業や団体に一言お願いします。

子どもたちが本を読むことで将来を見つめ直したり、大人に相談したりするきっかけになり、新たな世界や未来につながる可能性を、図書寄贈に感じています。「寄贈した本はきっと必要とする人へつながっていく」と信じて、ヤングケアラーに限らず子どもたちのことを思い、多くの皆さんにも図書寄贈に取り組んでいただけると嬉しいです。

一ありがとうございました。日本イーライリリーでは、社員を中心に全国で図書寄贈を行っています。上郡町社会福祉協議会さんのように、より多くの企業や団体に図書寄贈のような活動に参加いただき、ヤングケアラーを取り巻く環境改善に向けた輪がつながり、子どもたちの選択肢が広がっていくことを願っています。



お話を伺った社会福祉法人上郡町社会福祉協議会
左) ボランティアコーディネーターの横田さん、右) 事務局長の竹内さん

“本とひとでつなげる・ひろがるヤングケアラーの未来 LL ライブラリー” 寄贈図書リスト

ヤングケアラーと社会をつなぐことを目的に、日本イーライリーアのヤングケアラープロジェクトのメンバーが元ヤングケアラーの社員の声を聴いたり、全社員へのアンケートにより、3つの基準で「特定非営利活動法人ふうせんの会」と一緒に本を選定しました。下表にて、実際に日本イーライリーアが寄贈した、または今後寄贈する予定の本を紹介します。

【図書選定基準】

① ヤングケアラーの認知啓発、②子どもらしい、自由な時間（レスパイト）、③家事やキャリアを考えるお役立ち本

主な対象者	図書名	作者・編集者・監修者	出版社
学生 若者 地域の方	私だけ年を取っているみたいだ。 ヤングケアラーの再生日記	水谷 緑	文藝春秋
	ヤングケアラーの歩き方	大庭 美代子（著） 加藤 雅江（監修）	風鳴舎
小学生 中学生	むこう岸	安田 夏菜	講談社
	ポケット版「のび太」という生きかた	横山 泰行	アスコム
	漫画 君たちはどう生きるか	吉野 源三郎（著） 羽賀 翔一（漫画）	マガジンハウス
	みんなに知ってほしいヤングケアラー(1) ヤングケアラーってなんだろう？	濱島 淑恵（監修） 黒光 さおり（協力）	ポプラ社
	みんなに知ってほしいヤングケアラー(2) きみの心を守るには	濱島 淑恵（監修） 黒光 さおり（協力）	ポプラ社
	みんなに知ってほしいヤングケアラー(3) きみを支える社会のしくみ	濱島 淑恵（監修） 黒光 さおり（協力）	ポプラ社
中学生 高校生	with you	濱野 京子	くもん出版
	世界でいちばん私がカワイイ	ブリアナ・ギガンテ	幻冬舎
	13歳から家事のきほん 46	アントラム栢木 利美	海竜社
	新 13歳のハローワーク	村上 龍（著）、はまのゆか（絵）	幻冬舎
中学生 高校生 若者 地域の方	ヤングケアラー 考えよう、だれも取りのこさない社会	濱島 淑恵（監修） 小池 定路（イラスト・コミック）	文溪堂
若者 地域の方	ヤングケアラー わたしの語り	澁谷 智子（編）	生活書院
	わが家の母はビョーキです2 家族の絆編	中村 ユキ	サンマーク出版
	不安が希望に変わる！「ゼロ・リセット」マジック	Kenji	KADOKAWA
	大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした	クルペウ（著）、藤田 麗子（訳）	ダイヤモンド社

上記のリストは、2024年8月時点の情報に基づくものです。「主な対象者」は、日本イーライリーアのヤングケアラープロジェクトのメンバーが読んで判断したものであり、またこれらの図書もメンバーが適切と考えたもので、その内容等に日本イーライリーアが責任を持つものではありません。

「本とひとでつなげる・ひろがるヤングケアラーの未来 LL ライブラリー」

プロジェクト名称として、“地域の大人の一人である社員がそれぞれの地域で活動することで、ヤングケアラーを取り巻く環境に関心と理解のある仲間を増やし、必要な時に当事者や周囲が望む支援につなげたい”という想いを込めました。また、「LLライブラリー」の“LL”には“Live, Love, Link, Learn & Local”そしてLillyの頭文字を組み合わせ、地域で愛され、つながる図書となることへの期待を込めています。

2024年9月
日本イーライリーア株式会社